

2009.4.20 改定()

痛みと熱の家庭常備薬

ご使用に際して、この説明文書を必ずお読みください。
また、必要な時に読めるよう大切に保管してください。

トーチンカプセル 第②類医薬品()

製品の特徴

アセトアミノフェンとエテンザミドを配合し、頭痛、肩こり痛、熱、歯痛などに良く効きます。カプセルですので服用しやすくなっております。

⚠ 使用上の注意

❌ してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなる)

- 次の人は服用しないこと。
 - 本剤によるアレルギー症状を起こしたことがある人。
 - 本剤又は他の解熱鎮痛薬、かぜ薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人。
 - 7才未満の乳幼児。
- 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も服用しないこと。
他の解熱鎮痛薬、かぜ薬、鎮静薬。
- 服用時は飲酒しないこと。
- 長期連用しないこと。

■ 相談すること

- 次の人は服用前に医師、歯科医師又は薬剤師に相談すること。
 - 医師又は歯科医師の治療を受けている人。
 - 妊婦又は妊娠していると思われる人。
 - 水痘(水ぼうそう)若しくはインフルエンザにかかっている又はその疑いのある乳・幼・小児(15才未満)。
 - 高齢者。
 - 本人又は家族がアレルギー体質の人。
 - 薬によりアレルギー症状を起こしたことがある人。
 - 次の診断を受けた人。 心臓病、腎臓病、肝臓病、胃・十二指腸潰瘍
- 次の場合は、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、歯科医師又は薬剤師に相談すること。
 - 服用後、次の症状があらわれた場合

関係部位	症状
皮 心	発疹・発赤、かゆみ
消 化 器	悪心・嘔吐、食欲不振

関係部位	症状
精神神経系	めまい

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けること。

症状の名称	症 状
ショック (アナフィラキシー)	服用後すぐにじんましん、浮腫、胸苦しさ等とともに、顔色が青白くなり、手足が冷たくなり、冷や汗、息苦しさ等が現われる
皮膚粘膜眼症候群 (スティーブンス・ジョンソン症候群) 中毒性表皮壊死症 (ライエル症候群)	高熱を伴って、発疹・発赤、火傷様の水ぶくれ等の激しい症状が全身の皮膚、目や口の粘膜に現われる
肝機能障害	全身のだるさ、黄疸(皮膚や白目が黄色くなる)等が現われる
ぜんそく	

- 5～6回服用しても症状がよくなる場合。

[効能・効果]

- 頭痛・歯痛・抜歯後の疼痛・咽喉痛・耳痛・関節痛・神経痛・腰痛・筋肉痛・肩こり痛・打撲痛・骨折痛・ねんざ痛・月経痛(生理痛)・外傷痛の鎮痛
- 悪寒・発熱時の解熱

[用法・用量]

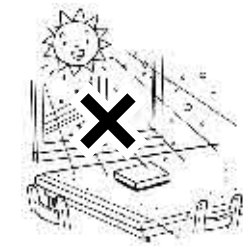
- 15才以上 1回 2カプセル
7才～15才 1回 1カプセル
1日1回を限度とし、なるべく空腹時をさけて服用すること。
(1)小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させること。
(2)7歳未満は服用しないこと。

[成分・分量] 1日量(2カプセル)中

- J.P.アセトアミノフェン 300 mg
J.P.エテンザミド 400 mg
なお、添加物として軽質無水ケイ酸、またカプセル本体にゼラチン、酸化チタン、ラウリル硫酸Naを含有する。

保管及び取扱い上の注意

- 直射日光の当たらない涼しいところに保管すること。
- 小児の手の届かないところに保管すること。
- 他の容器に入れ替えないこと。



カプセルの取り出し方

右図のようにカプセルの入っているPTPシートの凸部を指先で強く押し、裏面のアルミ箔を破り、取り出して服用してください。
(シートごとのみこむと、のどに突き刺さるなど思わぬ事故につながることもあるのでご注意ください。)



副作用被害救済制度：0120-149-931()

[お問い合わせ先]

製造販売元：太陽堂製薬株式会社 お客様相談室
〒635-0153 奈良県高市郡高取町下土佐578
電話 0744-52-2174(受付時間8:30～17:00 土・日祝を除く)